



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2016-2017年度  
7月号  
NO. 322

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

キックオフ  
YMCA サービス  
ASF

国際会長：Joan Wilson(カナダ) 主題：「私たちの未来は、今日より始まる」  
アジア地域会長：Tung Ming Hsiao(台湾) 主題：「ワイズ運動を尊重しよう」  
東日本区理事：利根川恵子(川越) 主題：「明日に向かって、今日動こう」  
関東東部部長：片山 啓(茨城) 主題：「組合せされ、結び合わされ、造り上げられてゆく」  
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題：「変化と継続！クラブ一丸！パートII」

### 7月例会(総会)

と き 2016年7月14日(木)  
PM6:00~8:00  
ところ 東陽町センター「多目的室」

受付：野本多美子  
司会：金丸満雄

#### ☆プログラム

開会点鐘 会長 鮎澤正和  
ワイズソング&信条  
会長挨拶  
ゲスト紹介  
食前の感謝  
今月の誕生日・結婚記念日  
総会議事  
・前年度活動報告  
・前年度会計報告  
・今年度活動方針  
・今年度予算案  
各種報告/スマイル  
閉会点鐘 会長 鮎澤正和

### 主題“変化と継続！クラブ一丸！” パートII 会長 鮎澤正和

今期会長を務めさせていただく鮎澤です。昨期からの続投となりますがよろしくお願ひいたします。会長主題は続投ということもあり「変化と継続 クラブ一丸！！PART2」としました。休会者が2名いる為人数的に厳しいものがありますが、今まで同様一つひとつのことにクラブ全体で取り組んでいかななくてはなりません。昨期は2018年問題で色々意見が出ました。

YMCAとワイズの関係、地域との関係、十分な時間をかけて結論を出したいと思ひますが残された時間はそれほど多くはありません。でも一つの方向性は見えてきたのではないのでしょうか。さらに議論を重ねより明確な道筋を示し、皆のパワーを一つのひがしクラブの大きなパワーにしましょう。よろしくお願ひいたします。

### 2016-2017年度 東京ひがしクラブ組織

会長：鮎澤 正和  
副会長：須田 哲史  
書記：金丸 満雄  
会計：野本多美子  
直前会長：高野 真治  
担当主事：沖 利柯  
《各担当》  
地域奉仕：飯田 歳樹  
会員増強：金丸 満雄  
国際・交流：竹内 聰  
ユース：須田 哲史  
ブリテン：金丸 満雄  
ファンド：須田 哲史

### 🕊 今月の聖句 🕊

『平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。』

—マタイによる福音書 5章9節—

### 6月例会

出席者	10名	ネット	1名
会員出席数	9名	コメット	名
在籍数	13名	ゲスト	名
(広義会員2名)		メーキャップ	名

会員出席率 82%

### スマイル

6月 19,000円

累計 **84,010円**  
\*\*\*\*\*

プルタブ累計  
**46.5キロ**

### 2016-2017年度役員

会長 鮎澤正和  
副会長 須田哲史  
書記 金丸満雄  
会計 野本多美子  
担当主事 沖 利柯

## 6月例会報告

書記 森村 実

6月例会は、東京ひがしクラブの1年間の活動の振り返りの会を東陽町センターにて行った。鮎澤会長、須田、飯田メネット、野本、沖担当主事、竹内、飯田、森村、金丸の順に、各自の一年間の思い出や振り返りを語った。今期中、二人のメンが病気で入院し、活動が中断してしまったものの、最後の例会には二人とも参加することができたのは、何よりである。

今期は、毎月の例会の他に、YMCA夏祭り、チャリティーラン、区民まつり、江東Yバザー、クリスマスオープンハウス、陽春の集い、ピースウォークなどのプログラムを実施した。全員参加できなかったものの、それぞれの思いで取り組み、一定の達成感を実感できた。残念ながら、菅野さんと私の2名は、来年度から、ワイズメンズクラブを、一旦、休会することとなった。まだ、二人共、現役世代であることより、自分の仕事や、やらなければいけない優先順位の高いことがあるため、全てが中途半端とならぬよう、活動の集中と選択の必要性を迫られた事が、その主な理由である。

インターネットやスマホが普及・定着し、社会構造や生活スタイルも急速に変化している世の中で、YMCAやワイズメンズクラブの運営方法も大幅に合理化しなければいけないとの意見も出た。沖担当主事からは、YMCAとして、大切なものとして何を残すべきかを、きちんと考え、判断していかなければいけない旨、話があった。

私見であるが、世界経済や日本の社会保険制度が益々不透明となっている中で、若手や現役世代が、負担感のあるワイズメンズクラブに深く関わっていくのは、いささか困難な時代に突入しているのではないだろうか。

東京ひがしクラブの拠点である東陽町センターの撤退に際し、YMCAのミッションを達成する為に、YMCAとワイズメンズクラブの目指すべき新しい方向性を明確にし、経営・運営の合理化を真剣に考える時期に来ていると思う。



森村さんご都合により休会いたします  
一年間書記ご苦労様でした

\*\*\*\*\*

## 京都ウエストクラブ訪問

6月18日(土)、金丸・竹内が京都ウエストクラブ引継例会に出席した。京都ロイヤルホテルにて34名の出席で行われた。18時、第1部引継例会が開会。加藤会長から角谷次期会長へ引継が行われた。京都ウエストの引継例会は、毎回メンバーによるサプライズで楽しませてくれる。その第2部では、加藤会長のフィーチャリングタイムとして、一年間の活動とサプライズのビデオレターが贈られた。皆さんの会長への温かい想いが感じられた。クラブ表彰が行われ続いてゲストから一言では、毎度同じ顔触れのお詫びと、1997年6月の第50回日本区大会(名古屋)にて、当時高野会長と松本会長によるDBC締結を行ってから、来年6月で20周年を迎える事と、来年は深川祭り本例祭があり、皆さんとの交流を楽しみにしていると挨拶した。こころ温まる引継例会、今回も沢山の感動をいただいた。

## 東日本区大会 in 長野

6月4・5日長野市若里市民文化ホールにおいて第19回東日本区大会が開催された。大会スローガン「ワイズにひかれ善光寺」に、東日本区・アジアから413名が集った、ひがしクラブからは鮎澤・金丸・高野・沖の4名が出席。12時30分長野少年少女合唱団の歓迎の歌でオープニング、続いてパナーセレモニーが行われ、鮎澤会長は高々とひがしクラブのパナーを掲げて登場した。開会式、東日本区アワー(I)、休憩後は「長野プレゼンツ」、善光寺天台声明・善光寺絵解き・吹奏楽の演奏を聴き童謡を歌って、若里文化ホールでの1日目が終了した。晩餐会は、19時よりホテルメルパルクにて行われ、「仏教の食事作法」と利根川次期理事の乾杯でスタート。和やかにテーブルを歩き来する恒例の懇親と交流が行われ、ワイズ流の晩餐会が終了した。二次会は、イタリアンの店を探し当て、ひがし・江東・ベイサイドの面々と、光永さんウエスト河合さんも合流し遅くまで楽しんだ。

二日目の東日本区アワー(II)も、若里文化ホールで行われた。表彰式・理事引継式・役員引継式・利根川次期理事の所信表明と役員紹介で終了し、閉会式が行われ最後に、大会ホストである長野クラブの皆さんに大きな拍手を送り全日程が終了した。



担当主事 沖 利柯

### ▼夏まつりにご協力を!

8月27日(土)に恒例の夏まつりを開催いたします。今年は金丸実行委員長のもと、準備が進んでおります。皆様にはダイビングクラブと合同出店の炭火焼の模擬店と、被災地支援物産展のお手伝いをよろしくお願いたします。また、提灯の掲載にもご協力の程よろしくお願いたします。

ラッフルの景品は2万円を超えた!と話題のトースターや折り畳み自転車、ホテル宿泊券など豪華景品が用意されています。1枚250円のラッフル券のご購入にもぜひご協力をお願いいたします。

### ▼熊本地震支援活動報告

熊本では徐々に避難所が統合されていく中、熊本YMCAが指定管理者として運営している益城町総合体育館や御船町スポーツセンターには、まだ多くの方が避難をされており、長期化の様相を呈しています。

東京YMCAでは継続的なスタッフの派遣、また専門学校学生の派遣などを行っておりますが、東京でも募金活動をはじめとする支援活動が行われています。

その一つにチャリティーマラソンコンサートがあります。今秋までシリーズで行われる予定です。近々に行われるコンサートは以下の通りです。

日時: 7月10日(日) 17時開演

会場: 日本基督教団久我山教会

(井の頭線久我山駅 徒歩5分)

演奏: トリオ・ゼフェロス「音楽世界旅行」

新藤昌子(ソプラノ) 曾我部清典

(トランペット) 飯靖子(オルガン)

チケット: 一般¥3,000 学生¥1,000

事務局: 東京YMCA 本部事務局



★今月の誕生日

野本 晃さん(17日)

♥今月の結婚記念日

野本多美子ご夫妻(17日)

